

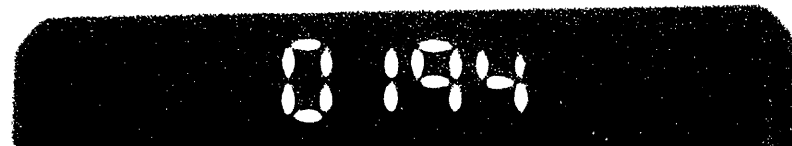
(3)

下持船
ク
久
子
和
七
口
号

二
高
能
海
口
復
旧
手
本
件

3

F-0122



名件

船隻往來及び事件

英國船船法違反被疑事件

分類 F.1.6.0.9

二月六日 英國船「クリスチナ」号(上海)モ
 三ノル(台)社()ハ 台湾 高雄 附近ノ 海口 灣
 沖ニ 碇 錨シタリ、直ニ 取 捕ヘタル 處 比 律
 賓「イロイロ」港ヨリ 上海ニ 向フ 途 中ニ 此
 他ニ「サル」ハ「カ」船(「カ」号)ヲ 曳 行
 ン 居リ 別 段 海 難 トモ 認メラレズ、石炭ノ 欠

外務省

至テ 理由トナシ 居リ 船員ノ 陳述ニ 依リテ
 見ラレ、莫モ「ア」タルガ 爲メ 念 不起 許ノ 意見
 ヲ 附シ 船 船 法 違反 嫌疑ニ 送 局セム
 ノナリ、原因ハ 船員ノ 不 慣レニ 依ルモト
 認メラレ、由

(本務省 警務課長 電話)

外務省

秘 寫

歌 謡 局
報 第二部長

昭和拾年六月廿五日
外國船舶不問港埠停泊及沿岸航

昭和十年六月十八日午後〇時五四分受

臺灣總督府總務長官發

拓務次官宛

電報譯文(至急警暗號)

警高甲一二六一七

管警秘第七一五ニ關シ船籍上海丁國船クリスチナ、モロ號(八一〇噸)ハ本月六日ヒリツピンイロイロ港ヨリ僚艦サルバドル號(三八〇噸)ヲ曳航シ基隆經由上海へ向フ途中燃料缺乏セリトテ十一日午後五時高雄州海口沖約一哩ノ地點ニ假泊シタニヨ

拓務省

ツテ同地ニ於テ一應調査ノ上十三日高雄ニ廻航セシメ取調べタルニ積込石炭ノ見込違ヒト曳航ニヨリ船足遅ク爲ニ石炭缺乏セリトノ船長ノ陳述ハ四圍ノ情況ヨリ大體ニ於テ信ジ得ルモ時節柄一應船長ヲ船舶法違反トシテ不起訴意見ニテ一件書類ヲ十八日中ニ檢察局へ送致ノ筈(身柄不拘束)詳細書面通報ス

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

F-0122

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

分類 017-1

昭和10

一〇〇五五

6.26

平

臺北 本省

六月廿四日發着

歐二

重光外務次官

臺灣總督府總務長官

(至急、親展)

英國船「クリスチナモウラ」號船長ノ船舶法違反被疑事件ハ本日臺南地方法院高雄支部檢察局ニ於テ不起訴ト決定アリ尙同船ハ本日出港ノ豫定

外務省

本邦ニ於ケル海事ニ關スル法規並同法規
原簿ニ依リ檢査中

F-0122



歌謡局

寫

第二報

第二時辰

昭和拾年六月廿五日接受

昭和十年六月二十四日午後一時四十一分受

臺灣總督府總務長官

拓務次官宛

電報譯文 親展

英國船クリスチナモウラ號船長ノ船舶法違反被疑事件ハ本日臺南
地方法院高雄支部檢察局ニ於テ不起訴ノ決定アリ尙同船ハ本日
出港ノ豫定

拓務省

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

F-0122

秘

歐亞局

警高甲第一三二五七號

第二課長

昭和拾年七月壹日 接受

昭和十年六月二十五日

臺灣總督府警務局長石垣倉治

招務省管理局長殿
 外務省歐亞局長殿
 内務省警保局長殿
 指定府縣長官殿
 臺灣軍參謀長殿
 臺灣憲兵隊長殿
 上海總領事殿

英國船クリスチン、モローラー號海口寄港ニ
 關スル件通報

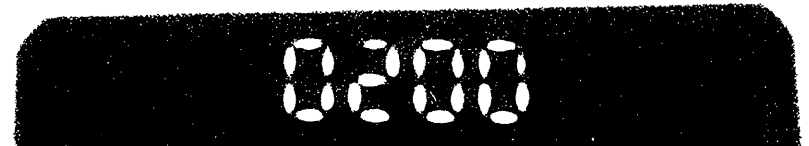
英國汽船クリスチン、モローラー號(八〇〇噸)ノ不開
 港場寄港ニ關シテハ、招務省管理局長(貴官)ニ
 ハ其ノ都度電報通報濟ナルモ、全船ハ比島イロ
 イロ港ヨリ僚船サルバトル號(三八〇噸)ヲ曳航上海
 ニ向ヌ途中燃料不足ノ爲ナリト稱シ六月十一日午
 後五時高雄州下海口沖一埋ノ地点ニ寄港シタ
 ル。因リ全船長由ハイン、ヨハセシラ船舶法違反ノ
 嫌疑ヲ以テ取調中ノ処燃料不足ニテ已マテク寄
 港シタリト云ヌ事實ハ眞實ト認めラレ船舶法違
 反ノ嫌疑不充分ト思料セラル。ニ付本月十八日高

雄州ニ於テ別紙ノ通り不起訴意見ヲ附シ事件
ヲ所轄高雄法院支部檢察司ニ送致セシ処本
月二十四日公檢察司ニ於テ不起訴ノ決定アリ公
船八日午後三時三十分基隆ヲ經由上海ニ向フ
ベク高雄港ヲ出帆セリ
右及通報候也

高雄港ニ於テ本船ノ出帆ニ付テハ
高雄港ニ於テ本船ノ出帆ニ付テハ
高雄港ニ於テ本船ノ出帆ニ付テハ

高雄港ニ於テ本船ノ出帆ニ付テハ
高雄港ニ於テ本船ノ出帆ニ付テハ
高雄港ニ於テ本船ノ出帆ニ付テハ

F-0122



意見書

本籍地 丁抹コペンハーゲンチアルブツドゲイド
住 所 中華民國上海バツプリングロード五八七

英國人経営モーター汽船會社 所属

汽船クリスチンモーター船長

ブロールアイベル・ヨハンヨハンセン

当四十年

一 刑事処分起訴猶予訓戒及起訴中止ヲ受ケタルコトノ
有無不詳

一 犯罪發覺ノ原因

認 知

一 犯罪事實

被疑者ブロールアイベルヨハンヨハンセンハ昭和十年二月二十七日
日在上海英國人経営モーター汽船會社ニ雇ハレ全年五月
十五日クリスチンモーター號ニ乗船シタル巡會社ヨリ比島
イロイロニ繫船セル全社 所属サルバドル號ヲ上海ニ曳航
スル豫余セラレ五月二十四日上海山々港 五月二十五日基隆
ニ寄港 石炭二百五十噸ヲ積ミ取り全二十七日岩港 五月
三十一日イロイロニ入港シ汽船サルバドル號三三三五一
噸ヲ曳航シ基隆ニテ積取リタル石二百五十噸ノ内 残炭
百十噸ヲ以テ燃料ニ充ツルコトニシテ月廿日午後三時
基隆ニ向テ全港ヲ岩港ニタルカ月廿日正午頃北緯十

七度五分東經百十九度四十三分即チイロイロ基隆間ノ
畧中興ルソノ島カンドン沖ニ於テ石炭ノ欠乏ト船ヲ遠
カ豫想外ニ運キ爲基隆迄ノ航行ハ不可能ニ付高雄
ニ寄港スルコトニ變更シ引續キ航行中五月十一日午
前八時頃北緯二十一度四十四分東經百二十度二十分即チ
鷺查島西南方沖ニ到達セル際西方ヨリノウネリト
驟雨及潮流ノ影響ヲ受ケ速力頓ニ減シ爲メニ豫定ノ
北航困難トナリタル爲メ本島海岸ニ沿ヒ航行セント針
路ヲ北東ニ變更航行中五午頃曳船用ノ綱切断シ午
後四時頃燃料欠乏シ航行不能ニ付燃料補給ト海
難ヲ避ケル爲メト称シ不廟港揚タル高雄州恒春郡
車城庄海口沖一哩即チ北緯二十二度七分東經百二十

度四十二分ノ位置ニ拔錨シ薪十二頓ヲ補給シタルモノ
ナリ

一参考トナルヘキ事項

一被疑者ヨハンヨハンセンハ本國丁抹コペンハーゲンニ於
十四才ノ時海員トナリ大正十一年船長ノ資格ヲ受
ケ曳船ノ船長ニ從事シ昭和九年十一月上海ニ轉
住全十一年二月二十日全地英國人經營ニ係ルモノヲ
川汽船会社ニ就職全五月十五日曳船クリスチンモトヲ
一擲ノ船長ヲ命セラレタルモノニシテ支那海ノ航海ニハ
經驗ヲ有セサルモノナリ

尚本國ニ於テ海軍中尉トシテ約一年半水雷艇ニ勤
務シタルコトアルモ三十八才ニテ吾籍ヲ終了セルモノナリ

〔三〕被疑者ノ陳述ニ依レハ基隆イロイロ二〇六哩ノ航
海ニ石炭百十噸ヲ費消シタルモ内十噸ハ本船ノ速力
試験ノ爲メ使用シタルモノニシテ一時間ノ平均速力ハ
約十哩ナリ而モ往航ニハ東南方ヨリノ季節風ト南方
ヨリノ潮流ノ爲メ速カラ減セラレタリ

イロイロヨリ基隆ニ向ケル港ノ際ハ機関長ヨリ石
炭ハ百二十噸アリトノ報告ヲ受ケ被曳船サルバドル
號ハ船側ニ牡蠣類附着シ汚損シ居レルモ従来ノ曳
船ノ經驗ニ照シ一哩以上速カラ減スルコトハナカルヘク
且ツ往航ニ反シ季節風及潮流ノ助力モアリ本船ノ經
濟速力即チ一日石炭十尙七噸ヲ以テホイラー二個ヲ使
用スル時ノ速力十哩ヨリ一哩ヲ減シ九哩ニテ航海セ

八百二十五噸ノ石炭ヲ以テ五日ニテ基隆ニ到着シ得
ヘク例令最悪ノ場合ト雖モ高雄迄ハ到達シ得ルモ
ハト思惟シ居タルト稱スルモ往航ハ好天氣ニ恵マレ
而モ單獨ニテ石炭百十噸ヲ費消シタルニ復航ハ若シ
ク汚セルサルバドル號ヲ曳航シ且ツ荒天ヲ豫想セサ
ルヘカテサルバドルイロイロニ於テ補充スルコトナク僅カ百
二十噸ノ石炭ヲ以テ岩港シタルハ船長トシテ注意ヲ
欠キタルモノト認メラル殊ニ機関長ノ怠慢ニ因ルト
ハ言ヘ船長ハ百二十五噸ト考ヘ居タル石炭ハ事實
百十噸ニ過キサルモノナリ

〔四〕被疑者方ヨリ九日正午頃速カト石炭ノ残高ニ依リ
到底基隆迄ハ航行ハ不可能ナリト認メ寄港_地ヲ尙

雄ニ変更シタルハ本社ニ對スル電報ト其ノ結果ニ基キ
本社ヨリ三井物産高雄支店ニ對スル石炭注文ニ依リ
明カガリ本船カ北緯二十三度七分東經百二十度四十二
分即チ海口燈臺西北方約一哩ノ沖ニ拔錨セルトキ
石炭欠乏シ僅カニ一乃至二噸ヲ剩スノミニテ且ツ當時
海口沿岸一帯カウネリ及波浪高カリシコトハ本船ヲ
臨檢シタル海口警察官吏派岌所勤務高雄州巡查
本山貞雄ノ報告ニ依リ事實ト認メラレ被疑者カ不
開港タル海口ニ寄港シタルハ全ク海難ノ爲メニシテ
他ニ何弊カノ目的アリテ計畫的ニナシタルモノト斷ス
ハキ何弊ノ證據ナキモリ

右本件ヲ察スルニ被疑者ヨハンヨハンセンノ行爲ハ船舶
法第三條ニ該當スル犯罪ト恩料ヲ捜査シタルモ
参考事項第三號記載ノ事由ニ依リ嫌疑不十分ト
恩料ス

昭和十年六月十八日

高雄州警務部

警部補 渡邊雪松

臺南地方法院高雄支部檢察官

上席檢察官 眞田俊雄殿

F-0122

秘

歐亞局

第二課長

昭和拾年七月拾日 授受

警高甲第一三七八六號

昭和十年七月六日

台灣總督府警務局長

石垣 倉治

拓務省 管理局長 殿
外務省 歐亞局長 殿
内務省 警保局長 殿
上海總領事 殿

高雄州海口沖ニ假泊セル英國汽船クリスチン
ンモーラー一號船長ノ言動ニ關スル件通報

旨要

- 一、海口沖假泊ハ容疑ノ點ナク不起訴處分トナリタリ
- 二、取調延引ニ因リ損害約二万弗
- 三、船長ハ該損害ノ補償ヲ要求スル考ヘナリト

臺灣總督府

去ル六月十一日高雄州恒春郡海口沖ニ假泊セル容疑英國船クリスチン
モーラー一號及サルバドル號ハ六月二十六日基隆ニ入港炭水補給ノ上、上海
ニ向ヒタルガクリスチンモーラー一號ノ船長丁抹人ジエイヨハンセン（當
四十年）ノ語ル處左記ノ如シ

記

一、私ノ船クリスチンモーラー一號ハ在上海モーラー汽船會社所屬船デア
ツテ平素ハ就航シ居ラサル曳船デアリマスガ比律賓イロイロ附近ニ於
テ坐洲シ居リタル古船サルバドル號ヲ今回モーラー汽船會社ガ上海迄之
ヲ曳航スルコトニナリマシタ、ソシテ同船ニハ私ガ船長トナリ其他各
モーラー一系所屬汽船カラ船員ヲ臨時召集シテ乗船セシメ就航スルコト
ニナツタノデアリマス、從ツテ私及船員等ハ船ノ速力消炭量潮流風浪
等ノ關係詳細ザルタメイロイロヨリノ歸途燃炭ニ不足ヲ生シ高雄州
海口沖ニ假泊スルノ止ムナキニ至ツタモノデアリマシマスバイノ目的
デ假泊シタモノデアリマセヌ

臺灣總督府

F-0122

0122

二、取調ヘニヨツテ受ケタ損害ハ本船カ高雄ニ十一日間繋船ヲ命ゼラレ
マシタカ一日ノ損害ハ船員ノ給料停船料其他約九百弗デアリマス、尙
本船カ上海ニ歸航後ハ私ノ船（クリステンモーラー號）ハモーラー汽
船會社ノ命ニヨリ船名ハ知リマセンガ上海ニ繋船中ノ約四千噸ノ解体
船ヲ大阪迄曳航スルコトニナツテ居リマシタ其レハモーラー汽船會社
ガ大連汽船會社ニ大阪渡シテ其ノ解体船ヲ賣渡ス契約ガアツタノデ其
レヲ私ノ船ガ曳航スル筈デアリマシテ今般私ノ船カ高雄デ十一日間モ
停船シタノデ從ツテ其ノ解体船ヲ大阪ヘ曳航スルコトモ延引サレ十一
日間モ上海ニ繋留スルノ止ムナキニ至リ其ノ損害モ亦相當額ニ上リ之
等ヲ合算スルトモーラー汽船會社ハ約二万圓ノ損害ヲ受ケタノデアリ
マス

三、モーラー汽船會社々長モーラーハ貪慾強情者デアリマスカラ今回ノ
事件ノタメ事情ノ如何ヲ問ハズ必ス私ヲ機關長ヲ敵首スルモノト思ヒ
マス

臺灣總督府

四、今回ノ事件ノ取調ベノ結果スパイノ嫌疑ガナイト云フ事ガ明カニナ
リマシタ、モーラー汽船會社ハ前述ノ通り二万弗ノ損害ヲ蒙ツテ居マ
ス、歐洲ニ於テハ如斯取調ベノ結果嫌疑ナキ事明カニナツタトキハ其
ノ取調ニヨリ生ジタ損害ノ全部又ハ一部ハ補償スルコトニナツテ居マ
スガ日本ニハ斯ル損害補償法ハナイノカ私ハ上海歸港後モーラー社長
ヲシテ上海英國大使又ハ關係方面ヲ通シテ倫敦英國外務省ニ損失補償
ノ交渉ヲシテ貰フ考ヘデ居リマス、モーラー社長モ之ニ同意スルモノ
ト思ヒマス

宣統元年八月九日

臺灣總督府

F-0122